



エコアクション21
認証・登録番号 0001227

エコアクション21 環境活動レポート2014



【佐賀市兵庫町・ひょうたん島公園】



地球と共に生き、豊かな自然を守り続ける。

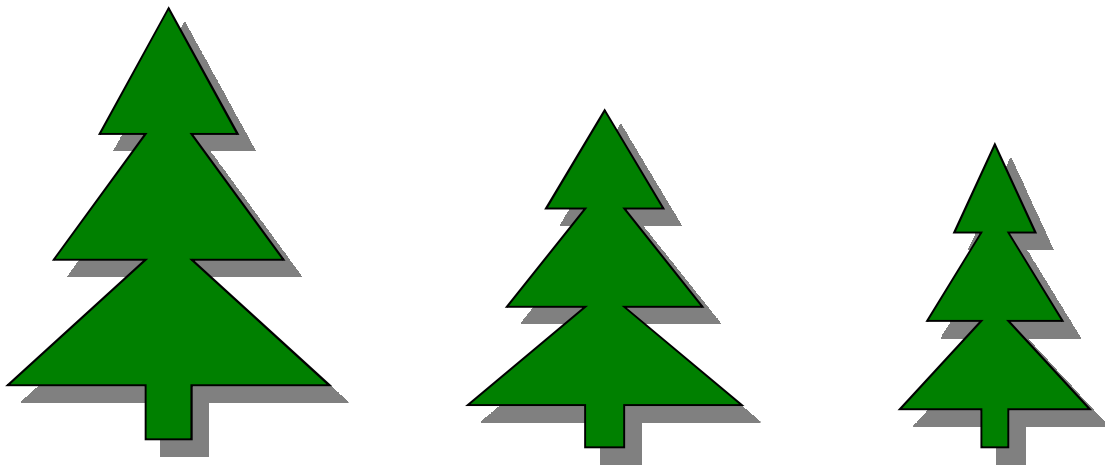
2014年 8月15日 発行

有限会社 坂井商店

EMS 責任者 坂井茂夫

目 次

1. 環境方針
2. 組織の概要及び対象範囲
3. 環境目標及びその実績
4. 環境活動計画の内容及び評価
5. 環境活動計画の取組結果とその評価
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
7. 代表者による全体評価と見直しの結果
8. 次年度の活動計画
9. 環境保全に関するその他の取組等
10. 環境保全検査の測定結果



参考文献・資料

- ・環境省 エコアクション 21 産業廃棄物処理業者向けガイドライン 2009 年版
- ・九州電力 H P 温対法に基づく温室効果ガス排出量算定（平成 25 年度実績値の算定）に用いる「電気の使用に伴う CO₂ 排出係数」より
CO₂ 排出係数 0.599 k g -CO₂/kWh（平成 24 年度実績）
- ・環境省地球環境局 事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン参照

1. 環境方針

基本理念

有限会社坂井商店は、豊かで持続可能な社会の実現にむけて、安心・安全な生活の確保を目指し、廃棄物処理業において適切な処理を行うと同時に、リサイクル及び再資源化への積極的な推進を行い、社員一同環境保全と地域社会貢献に努めます。

環境基本方針

- ① 当社が行う産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬、建設工事(土木・解体等)、産業廃棄物の中間処理(焼却・破碎・圧縮)、最終処分(安定型)及びリサイクルにかかわる環境影響を的確に捉え、目標を設定し、環境マネジメントシステムの継続的改善を行い、全社員で環境保全に努め、循環型社会に貢献します。
 - 1) 農業用廃棄物を含むあらゆる産業廃棄物のリサイクルを推進します。
 - 2) 車両、機械・設備の効率的な運転を行い、二酸化炭素の排出量の削減を行います。
 - 3) 事務所では、節電、節水、事業系一般廃棄物の分別を徹底し、廃棄物の排出量を減らします。
 - 4) 事務用品等一般購入品のグリーン調達に努めます。
 - 5) EA21 ネット佐賀に参加協力し、認証事業者の拡大、環境人材育成に努めます。
- ② 環境関連法規制及び当社が同意したその他の要求事項を順守し、環境保全に努めます。
- ③ 排出事業者・従業員・地域社会など当社を取り巻くあらゆる関係者との対話を深め、環境コミュニケーションをより充実させます。

本方針は、全従業員に周知徹底するとともに、社外に公表します。

平成24年11月10日 改定

有限会社 坂井商店

代表取締役

坂井 末治



2. 組織の概要及び対象範囲

(1)事業者名及び代表者名

有限会社 坂井商店 代表取締役 坂井 末治

(2)設立

昭和 38 年 1 月 15 日 坂井商店 (自営業)
平成 5 年 11 月 15 日 有限会社 坂井商店

(3)資本金

10,000,000 円

(4)事業所の所在地

- 本社及び中間（焼却）処理場：佐賀県佐賀市久保泉町大字下和泉一本樵 635 番 1
- 中間（破碎・圧縮）処理場：佐賀県佐賀市久保泉町大字下和泉五本樵 245 番 1
- 安定型最終処分場：佐賀県神埼市脊振町鹿路 1199-41,1199-99、1199-100
- 資材・機材置場：佐賀県佐賀市久保泉町大字下和泉一本樵 613 番 2
- 駐車場：佐賀県佐賀市久保泉町大字下和泉字一本樵637番 1

(5)管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：坂井 茂夫
連絡先：TEL 0952-98-0118 ・FAX 0952-98-3249
E-mail yu-sakai@carrot.ocn.ne.jp

(6)事業年度及び取組期間

事業年度：毎年 7 月 1 日から翌年 6 月 30 日
取組期間：平成 25 年 7 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日

(7)外部監査及び表彰歴

- ◆平成18年8月監査の結果 リコーグループ環境経営報告書 2007 に廃棄物処理委託業者として掲載していただきました。
- ◆平成20年3月6日 第11回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優秀賞受賞しました。
- ◆平成20年10月18日 エコアクション 21 全国交流研修大会 in 九州くまもと 2008 においてエコアクション 21 廃棄物部門賞受賞しました。
- ◆平成21年 全産連青年部協議会 CO2マイナスプロジェクト登録しました。
- ◆平成22年3月1日 第13回環境コミュニケーション大賞 環境活動レポート部門優秀賞受賞しました。
- ◆平成22年4月28日 (株)リコー社会環境本部より優良事業所として認定していただきました。
- ◆平成22年6月4日 社団法人産業廃棄物協会より優良事業者表彰をいただきました。
- ◆平成23年11月21日 佐賀県優良基準適合確認(産業廃棄物収集運搬業・特別管理産業廃棄物収集運搬業・処分業)
- ◆平成24年1月29日 エコアクション 21 環境活動レポート大賞受賞しました。
- ◆平成24年3月17日 福岡県優良基準適合(産業廃棄物収集運搬業)
- ◆平成24年 6 月 1 日 塩化ビニル管・継手協会様と契約しました。
- ◆平成24年 9 月 日 熊本県優良基準適合確認(産業廃棄物収集運搬業)
- ◆平成25年3月3日 福岡県優良基準適合(特別管理産業廃棄物収集運搬業)

(8)事業の規模

当社の事業規模は次の通りです。

活動規模	単位	平成 24 年度	平成 25 年度
総売上高※	百万円	222	233
従業員	人	15.0	15.0
本社及び中間(焼却)処理場	m ²	3,996.80	3,996.80
中間(破碎・圧縮)処理場	m ²	1,897.86	1,897.86
安定型最終処分場	m ²	12,761.00	12,761.00
資材・機材置場	m ²	1,504.07	1,504.07
総敷地面積	m ²	20,159.73	20,159.73
取扱産廃量	t	6,125	6,690
解体工事に伴う産廃量	t	263	150
取扱一廃量	t	2,720	2,646
取扱有価物量	t	1,058	1,026
産廃処理後の有価物量	t	321	204
総取扱量	t	9,845	10,308

※総売上高については、土木建築資材の販売、解体及び土工事、一般廃棄物収集運搬及び産業廃棄物収集運搬、産業廃棄物処分の売上と有価物売却高を含む。

(9)施設の概要

処理施設の種類	焼却施設（1号炉）	焼却施設（2号炉）
処理能力	9.6 t／日（8時間）	0.8 t／日（5時間）
産業廃棄物の種類	紙屑、木屑、繊維屑	紙屑、木屑
施設の設置場所	佐賀市久保泉町大字下和泉字一本椎 635 番 1	
設置年月日	平成 6 年 1 月 14 日	平成 3 年 4 月 1 日
処理方式	バッチ燃焼式 固定床炉	バッチ燃焼式 固定床炉
火格子面積	22.04 m ²	6.83 m ²
構造及び設備の概要	燃焼ガス温度 850℃以上 燃焼ガス滞留時間 2 秒以上 スクラバー・サイクロン	燃焼ガス温度 850℃以上 燃焼ガス滞留時間 2 秒以上 乾式サイクロン
焼却灰の処分方法	管理型埋立又は固化	

処理施設の種類	最終処分場（安定型）
処理能力	面積 9,705 m ² 容量 95,615 m ³
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず並びにゴムくず及びがれき類
施設の設置場所	神埼市脊振町鹿路 1199-41、1199-99 1199-100
設置年月日	平成 8 年 6 月 7 日
処理方式	多段式積上げ方式
構造及び設備の概要	コンクリート堰堤 排水溝 沈砂池

処理施設の種類	破砕施設	圧縮施設
処理能力	4.38 t / 日 (10 時間)	33.66 t / 日 (10 時間)
産業廃棄物の種類	紙屑、木屑、繊維屑、廃プラスチック類、ゴム屑、金属屑	紙屑、繊維屑、廃プラスチック類、ゴム屑、金属屑
施設の設置場所	佐賀市久保泉町大字下和泉字五本椎 245 番 1	
設置年月日	平成 13 年 8 月 27 日	平成 13 年 8 月 27 日
処理方式	一軸破砕方式	油圧式プレス方式
構造及び設備の概要	投入ホッパー・油圧式プッシャー・ベルトコンベア	ホッパー・結束機



トラックスケール	地上型 秤量 40 t
----------	-------------

運搬車両の概要

車体の形状	最大積載量	台数
塵芥車	2000 k g	4 台
塵芥車	3000 k g	1 台
ダンプ	2000 k g	4 台
ダンプ	3750 k g	2 台
ダンプ	3850 k g	1 台
キャブオーバ	2000 k g	1 台
キャブオーバ (コンテナ専用車)	4000 k g	1 台
脱着装置付コンテナ専用車	4050 k g	1 台
脱着装置付コンテナ専用車	3800 k g	1 台
ダンパー	2770 k g	1 台



車両に係る低公害車の導入状況

産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低公害車の導入状況

1.産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低排出ガス車の導入状況

運搬車の排ガスレベル		台数（割合）
全保有台数		17 台（100 %）
①平成12年基準排出ガス車 良☆		台（ %）
②平成12年基準排出ガス車 優☆☆		台（ %）
③平成12年基準排出ガス車 超☆☆☆		台（ %）
④平成12年基準超低PM排出ディーゼル車 ☆☆☆		1 台（ 6 %）
⑤平成12年基準超低PM排出ディーゼル車 ☆☆☆☆		2 台（ 12 %）
⑥平成17年規制適合車		1 台（ 6 %）
⑦平成17年基準排出ガス車 ☆☆☆		台（ %）
⑧平成17年基準排出ガス車 ☆☆☆☆		台（ %）
⑨平成17年基準排出ガス重量車 ☆		台（ %）
⑩平成17年基準排出ガス重量車 ★		2 台（ 12 %）
<u>（低排出ガス車の導入目標）</u>		
平成27年3月末までに平成17年規制適合車(⑥)の占める割合を保有台数の25%以上とする。		

2.産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低燃費車の導入状況

運搬車の燃費低減レベル		台数（割合）
全保有台数		17 台（100 %）
平成17年度燃費基準達成車	①-	台（ %）
	②10%低減レベル	台（ %）
平成22年度燃費基準達成車	③-	台（ %）
	④5%低減レベル	台（ %）
	⑤10%低減レベル	台（ %）
	⑥15%低減レベル	台（ %）
	⑦25%低減レベル	台（ %）
平成27年度燃費基準達成車	⑧-	1 台（ 6 %）
<u>（低燃費車の導入目標）</u>		
平成27年3月末までに平成27年燃費基準達成車(⑧)の占める割合を全保有台数の18%以上とする。		

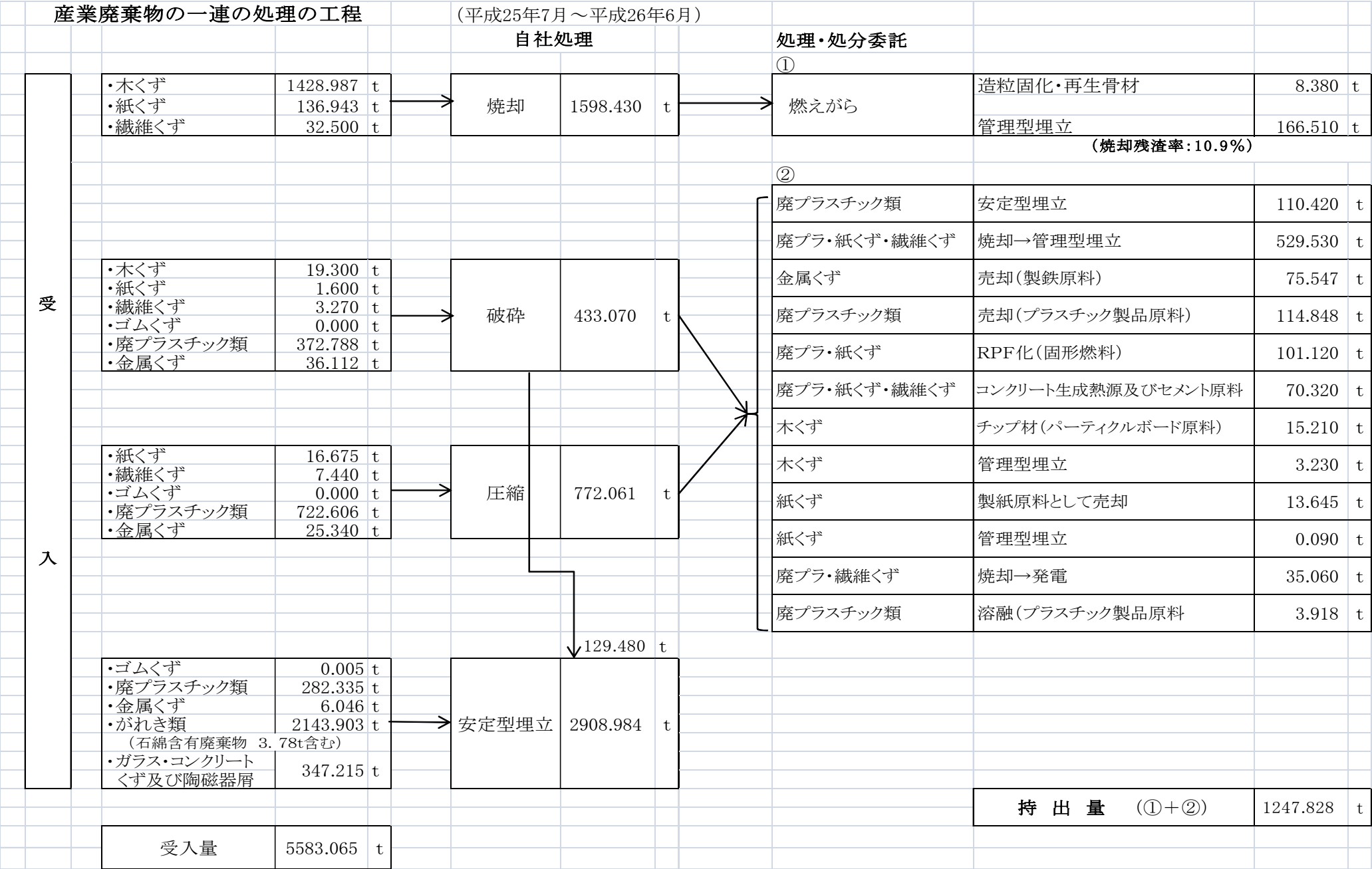


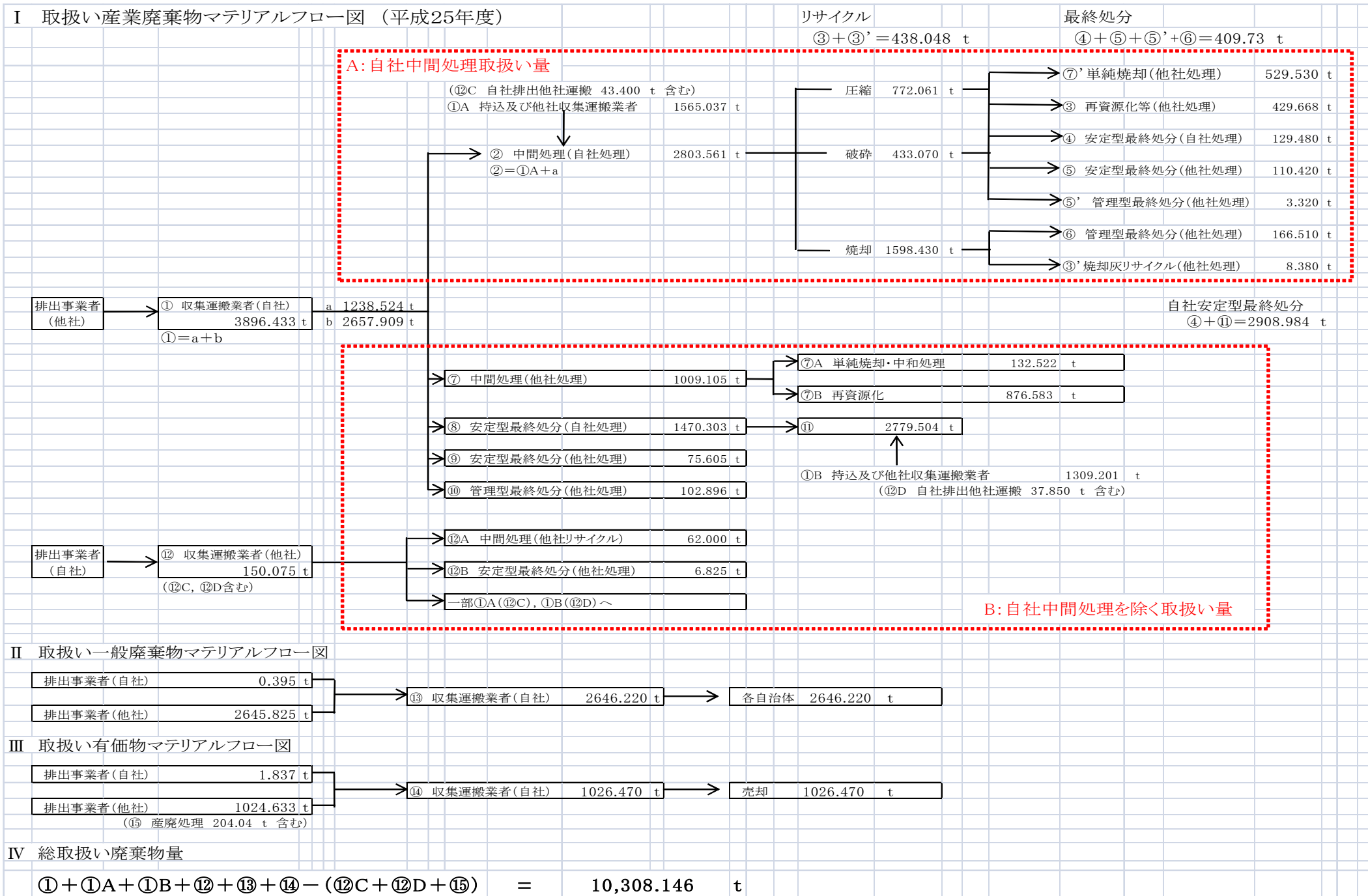
【2 m³コンテナ】



【8 m³コンテナ】

(10) 処理の工程図と総取扱廃棄物量及び受託した廃棄物の処理量





平成 2 5 年度事業活動のマテリアルバランス

インプット

アウトプット

エネルギー投入量

事業	営業車両	ガソリン	21,395	MJ
	車両	軽油	2,027,117	MJ
	焼却炉	A重油	1,200,370	MJ
		軽油(発電機)	339,705	MJ
		軽油(重機)	354,534	MJ
		L P ガス	653	MJ
	電力	電力	988,957	MJ
		軽油(重機)	64,787	MJ
	破碎・圧縮	電力	53,613	MJ
	資材置場	軽油(重機)	14,325	MJ
事務所	最終処分場	軽油(重機)	152,265	MJ
	ガソリン	ガソリン	18,249	MJ
		灯油	0	MJ
		L P ガス	1,606	MJ
		電力	69,311	MJ

バージン資源購入量

1,051.900 ?

循環資源購入量

再生骨材 23.000 ?

廃プラ	50.830	t
金属	0.240	t
古紙	413.274	t

廃棄物取扱量

有価物	他社排出	廃プラ	63.768	t
		金属	273.282	t
		古紙	258.844	t
	自社排出	廃プラ	0.250	t
		金属	0.440	t
		古紙	1.542	t

一般廃棄物	佐賀市委託分	1,968.370	t
	他社排出	677.455	t
	自社排出	0.395	t

産業廃棄物	自社処理	自社収運	2,708.827	t
		持込み	2,792.988	t
	他社処理	自社収運	1,187.606	t
		自社解体	150.075	t

水 使 用 量 226.000 ?

事業活動

- ◆土木工事業
 - ・造成工事2件
- ◆とび、土工工事、浚渫工事
 - ・解体工事7件
- ◆一般廃棄物の収集運搬
- ◆金属類、廃プラスチック類
 - 等有価物の買取及び販売
- ◆土木建築資材の販売
- ◆産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）の収集・運搬及び処理処分
 - 建設・運営管理

焼却量：1598.430.t

破碎量：433.070t

圧縮量：772.061t

埋立量：2908.984t

- ◆上記に付帯関連する一切の業務

CO2排出量

事業	営業車両	ガソリン	1,436	kg-CO2
	車両	軽油	139,263	kg-CO2
	焼却炉	A重油	83,852	kg-CO2
		軽油(発電機)	23,338	kg-CO2
		軽油(重機)	24,357	kg-CO2
		L P ガス	37	kg-CO2
	電力	電力	60,263	kg-CO2
		軽油(重機)	4,451	kg-CO2
	破碎・圧縮	電力	3,267	kg-CO2
	資材置場	軽油(重機)	984	kg-CO2
事務所	最終処分場	軽油(重機)	10,461	kg-CO2
	ガソリン	ガソリン	1,224	kg-CO2
		灯油	0	kg-CO2
		L P ガス	96	kg-CO2
		電力	4,224	kg-CO2

資材販売・建設資材

1,074.900 ?

有価物	廃プラ	114.848	t
	金属	273.962	t
	古紙	673.660	t

廃棄物排出量

一般廃棄物		2,646.220	t
産業廃棄物	処分	1,257.108	t
	リサイクル	1,376.631	t

総 排 水 量 226.000 ?

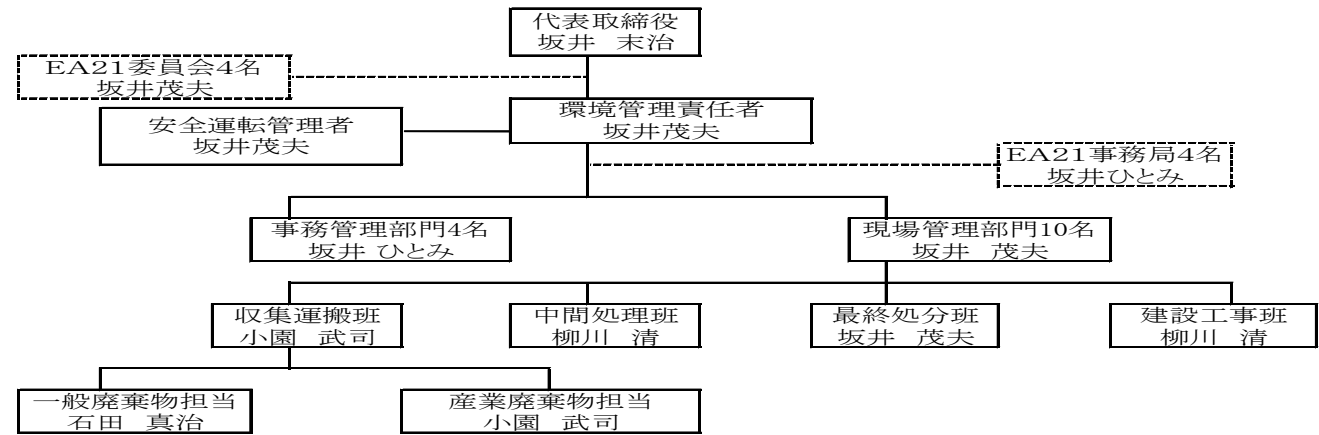
※井水に関しては、焼却施設の冷却用に使用していますが、蒸発水を補充する程度なので、カウントしていません。

受託した産業廃棄物の処理量(自社中間処理取扱量)					平成25年7月～平成26年6月	
処理方法等		廃棄物等種類		処分方法等		処理量(単位:t)
収 集 運 搬		木くず				235.622
		紙くず				103.560
		繊維くず				13.930
		廃プラ類				823.960
		金属屑				61.452
収 集 運 搬 量 合 計						1238.524
中 間 処 理		木くず		破砕 (収集運搬)		3.280
				(持込)		16.020
				焼却 (収集運搬)		232.342
				(持込)		1196.645
				合計		1448.287
		紙くず		破砕 (収集運搬)		1.510
				(持込)		0.090
				圧縮 (収集運搬)		1.985
				(持込)		14.690
				焼却 (収集運搬)		100.065
				(持込)		36.878
				合計		155.218
		繊維くず		破砕 (収集運搬)		1.250
				(持込)		2.020
				圧縮 (収集運搬)		6.720
				(持込)		0.720
				焼却 (収集運搬)		5.960
				(持込)		26.540
				合計		43.210
		廃プラ類		破砕・圧縮(収集運搬)		823.960
				(持込)		271.434
				合計		1095.394
		金属屑		破砕・圧縮(収集運搬)		61.452
				(持込)		0.000
				合計		61.452
中 間 処 理 合 計						2803.561
	自社安定型	廃プラ類		自社(安定型埋立)	128.500	
	最終処分	金属類		自社(安定型埋立)	0.980	
	他社安定型	金属類		他社(安定型埋立)	0.000	
	最終処分	廃プラ類		他社(安定型埋立)	110.420	
	他社管理型	燃え殻		他社(管理型埋立)	166.510	
	最終処分					
	他社管理型	木くず		他社(管理型埋立)	3.230	
	最終処分	繊維くず		他社(管理型埋立)	0.090	
	他社焼却	廃プラ類・繊維くず		他社(焼却)	529.530	
中間処理後の	小 計					939.260
産業廃棄物	再資源化等	木くず		堆肥製造又はパーティクルボード	15.210	
		紙くず		古紙売却	13.645	
		紙くず		RPF製造	0.000	
		紙くず		焼成	0.000	
		繊維くず		発電	2.720	
		廃プラ類		売却	114.848	
		廃プラ類		RPF製造	101.120	
		廃プラ類		焼成	70.320	
		廃プラ類		プラ原料	3.918	
		廃プラ類		発電	32.340	
		金属屑		切断・圧縮・金属再生	75.547	
		燃え殻		固化破砕	8.380	
	再 資 源 化 等 量 小 計					438.048
中 間 処 理 後 処 分 量 合 計						1377.308

自社中間処理を除く取扱い分(収集運搬業及び最終処分業の取扱い量)								
平成25年7月～平成26年6月								
処理方法等		廃棄物等種類		処分方法等		処理量(単位:t)		
収 集 運 搬								
	安 定 型 最 終 処 分	コンくず・ガラスくず・陶磁器屑		自社安定型処分場	305.275			
		廃プラ類			235.107			
		ゴム屑			0.000			
		金属くず			5.836			
		がれき類			924.085			
		合 計				1470.303		
中 間 処 理 (他社処理)	廃プラ		溶融(R)		0.870			
	廃プラ		焼却		0.000			
	有機汚泥		堆肥化		249.060			
	有機汚泥		堆肥化		53.900			
	無機汚泥		焼却		10.400			
	廃油		焼却		88.810			
	廃酸		中和		0.000			
	廃酸		メタン発酵		9.690			
	廃酸		焼却		1.700			
	鋳さい		固化		0.000			
	ばいじん		固化		0.000			
	動植物性残渣		堆肥化		340.090			
	動植物性残渣		焼却		15.090			
	廃油(特管)		焼却		16.512			
	廃油		油水分離・調質		0.000			
	木くず		破碎		0.010			
	がれき類		破碎		100.092			
	蛍光管		破碎		2.039			
	乾電池		破碎		0.832			
	金属屑		切断圧縮		120.010			
	コンくず・ガラスくず・陶磁器くず		破碎		0.000			
			合 計				1009.105	
	安 定 型 最 終 処 分 (他社処理)		廃プラ		安定型埋立		17.105	
		コンくず・ガラスくず・陶磁器屑		安定型埋立		58.500		
		合 計				75.605		
管 理 型 最 終 処 分 (他社処理)		燃え殻		管理型埋立		82.356		
		廃石綿(特管)		管理型埋立		0.000		
		がれき類(石膏ボード)		管理型埋立		13.090		
		無機汚泥		管理型埋立		7.450		
		合 計				102.896		
収 集 運 搬 量 合 計						2657.909		
自 社 最 終 処 分	コンくず・ガラスくず・陶磁器屑		収集運搬		305.275			
			持込		41.940			
	廃プラ類		収集運搬		235.107			
			持込		47.228			
			中間処理後		129.480			
	ゴムくず		収集運搬		0.000			
			持込		0.005			
	金属くず		収集運搬		5.836			
			持込		0.210			
	がれき類		収集運搬		924.085			
			持込		1219.818			
最 終 処 分 量 合 計						2908.984		

(11)有資格者：産業廃棄物最終処分場技術管理者 1 名 ・ 1 級土木施工管理技士 1 名 ・ 産業廃棄物焼却施設技術管理者 1 名 ・ 2 級管工事施工管理技士 1 名 ・ 2 級土木施工管理技士 3 名・ 産業廃棄物破碎・リサイクル施設技術管理士 1 名

(12)実施体制



※各部門・班・担当に記載している者を責任者とする。
※各部門・班・担当の従事者は兼務している。

(13)事業の内容

- ①土木建築資材の販売
- ②建設業(土木工事業、とび・土工工事業、しゅんせつ工事業)
(建設業の許可 佐賀県知事許可第7905号)
- ③一般廃棄物処理業(収集・運搬(積替え及び保管を除く)
(佐賀市 指令循推第 28 号 神崎市指令保第 6 号)
- ④産業廃棄物収集運搬業(積替え及び保管を除く)
- ⑤特別管理産業廃棄物収集運搬業(積替え及び保管を除く)
- ⑥産業廃棄物処理業(中間処理(焼却・破碎・圧縮)、最終処分業(安定型))

※④⑤⑥の許可の内容

産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業				許 可 品 目																			
都道府県及び 政令市	積 替 え 保 管	許可年月日及び 有効期限	許可番号	燃 え が ら	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 プラスチック類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	ゴ ム く ず	鋳 さい	ば い じ ん	金 属 く ず※	硝 子 く ず	コン クリ ートく ず	陶 磁 器く ず	が れ き類	動 植 物性 残渣	ダ ス ト類	廃 石 綿
佐賀県	無	平成21年3月22日	04101016143	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		平成28年3月21日																					
佐賀県 (特管)	無	平成23年11月21日	04151016143			●																	●
		平成30年11月20日																					
福岡県	無	平成20年12月28日	04000016143	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		平成27年12月27日																					
福岡県 (特管)	無	平成25年3月3日	04050016143			●																	●
		平成32年3月2日																					
熊本県	無	平成20年11月27日	04305016143	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		平成27年11月26日																					
長崎県	無	平成22年9月18日	04200016143	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
		平成27年9月17日																					
産 業 廃 棄 物 処 分 業				許 可 品 目																			
佐賀県		平成21年3月22日	04141016143							●	●	●											
(焼却処理)		平成28年3月21日																					
佐賀県		平成21年3月22日	04141016143							●	●	●	●			●							
(破碎処理)		平成28年3月21日																					
佐賀県		平成21年3月22日	04141016143							●	●		●			●							
(圧縮処理)		平成28年3月21日																					
佐賀県		平成21年3月22日	04141016143							●						●		●		●			
(安定型最終処分場)		平成28年3月21日																					

※破碎・圧縮処理の金属くずは、缶類・アルミ箔状に限る。

※当社は(財)産業廃棄物処理事業振興財団が運営する情報開示システム(産廃ネット)を利用し、当社の産業廃棄物に関する情報を広く一般に公開しています。ぜひご覧ください。 アドレス：<http://www.sanpainet.or.jp/>

(14) 処理料金

お電話一本、お見積いたします。

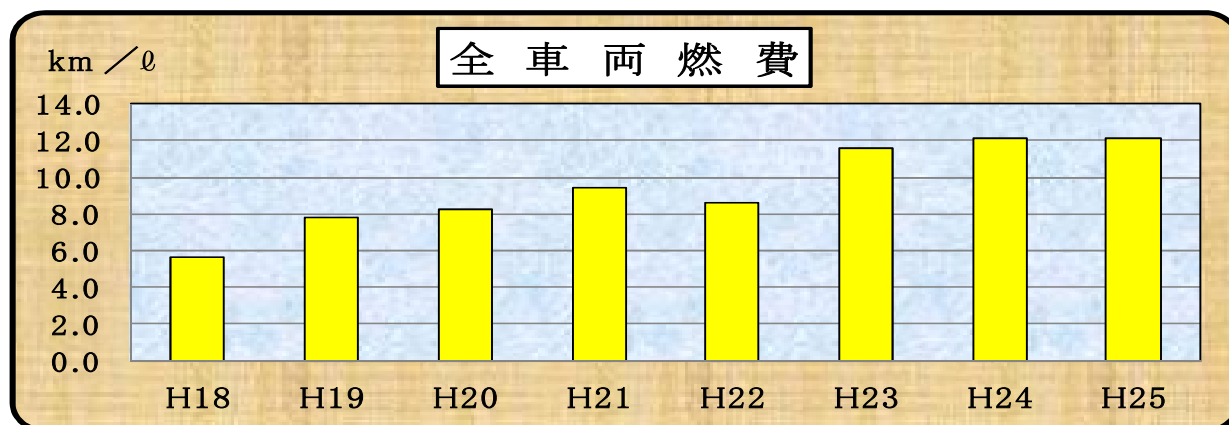
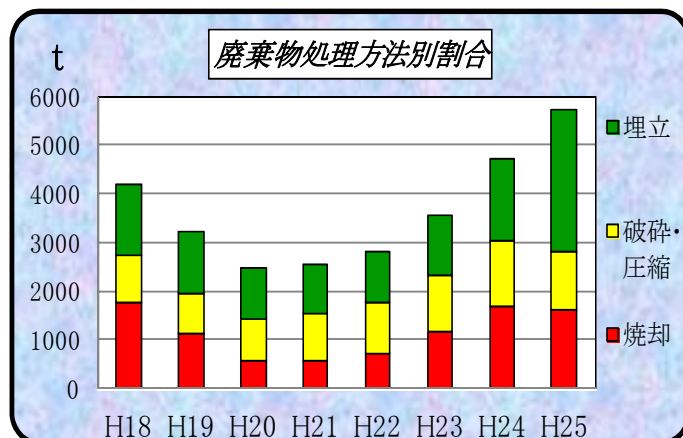
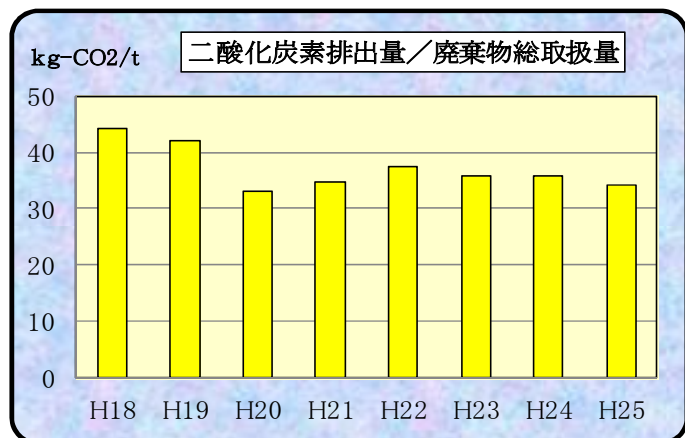
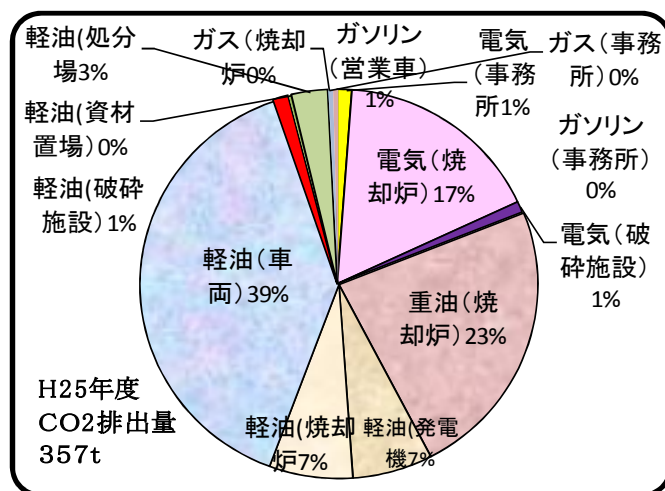
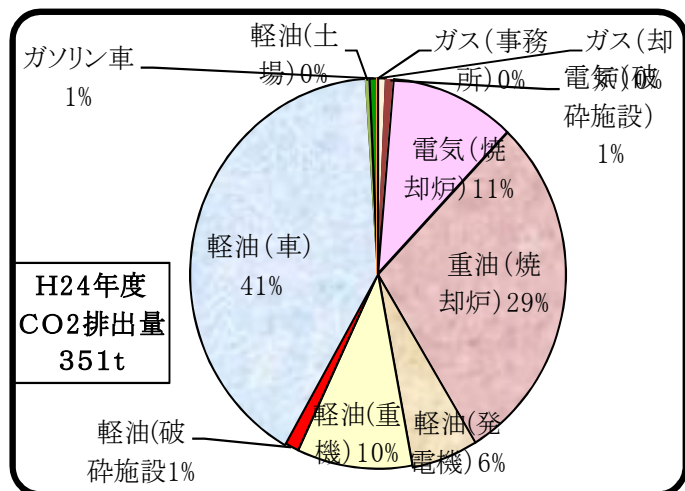
4. 環境活動計画の内容及び評価

取組目標 1		活動項目		責任者	評価
1	電気使用量の削減	①	室温の適温化（冷房時室温28度程度、暖房時室温20度程度）を徹底する。 室温計の確認	柳川秀子	○
		②	クールヴィズ アイスリュックの使用/ウォームビズ ウォームリュックの使用 ひざ掛けの使用	柳川秀子	○
		③	空調を必要な区域・時間に限定して行う。（事務所：室温計を見ながら、エアコンの入切・休憩室：昼休み中と夕方、来客時）	柳川秀子	○
		④	電気ポットの不要な時(夜間)は電源を切る(休憩室)	木下	○
		⑤	OA機器の省エネモードの利用を適正におこなう。	坂井ひとみ	○
		⑥	焼却炉及び破砕機・圧縮機の効率的な運転を行う・発電機等の消し忘れをなくす。	柳川清	○
		⑦	照明器具及びエアコンフィルター清掃を行う。	木下	○
		⑧	光熱費削減のため、時間外労働を減らして電気の使用時間短縮に努める。	柳川清	○
2	化石燃料使用量の削減 (構内で使用する重機等の燃料使用量の削減・収集運搬車両の燃費向上・低公害車両の比率向上)	①	運搬経路の見直しで効率の良い運転の促進(廃棄物回収に併せて処分場持込をし、処分場の選択は距離を優先して選ぶ。)	坂井澄子	○
		②	タイヤの空気圧の調整・車両の日常点検を行い記録する。	柳川清	○
		③	経済速度での運転の励行、アイドリングゼロ、急発進・急ブレーキゼロを実行する。	柳川清	○
		④	重機又は車両の運転技術向上のための訓練(年1回)	山口	○
		⑤	木くずを水分を含んだ状態で焼却しない(雨の日はシートで覆う)	小園	○
		⑥	産業廃棄物の持ち込み量を増やすための働きかけをする。	EMS責任者	○
		⑦	麦茶を沸かす時、ポットの残り湯を使い、ガスの使用を減らす	木下	○
取組目標 2		活動項目		責任者	評価
1	廃棄物(一般)排出量の削減	①	紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底する	坂井ひとみ	◎
		②	郵送されてきた封筒は再利用しすぐに廃棄しない	坂井ひとみ	◎
		③	使用済み封筒を再生にまわす。	右寺	◎
		④	売却ルートに載せられる容器等を使用した物を購入する。	坂井澄子	◎
		⑤	贈答品の包装は簡易包装を依頼する。	坂井澄子	◎
取組目標 3		活動項目		責任者	評価
1	コピー用紙使用量の削減	①	コピー機・プリンターの両面機能使用の促進	柳川秀子	◎
		②	コピー機・プリンターに裏紙専用トレイを用意し徹底する	柳川秀子	◎
		③	メールを活用し、極力プリントアウトを減らす。	坂井ひとみ	◎
		④	FAX送信は印刷せず、画面上で送信する。	坂井ひとみ	◎
		⑤	業務管理システムによる販売管理・マニフェスト管理・産廃税管理の一元化	柳川秀子	◎
		⑥	FAX受信を自動印刷されないようにし不要なFAXは印刷しない。	右寺	◎
取組目標 4		活動項目		責任者	評価
1	水道使用量の削減	①	洗濯物はまとめて洗う。	木下	○
		②	洗車の際にはバケツを使用し、流しっぱなしをしない。	小園	○
		③	水道の閉め忘れがないよう注意・管理者が必ず帰宅する前に確認する	EMS責任者	○
		④	頑固汚れがひどいものは洗濯機を使用せず、たわしで洗う。	右寺	○
		⑤	ピット清掃時に使用するヤッケは古いものを着用し、洗濯しない。	右寺	○
		⑥	燃え殻排出時、粉塵予防のため水をかけるができるだけ水をかけすぎないようにする。	石田	○
取組目標 5		活動項目		責任者	評価
1	総取扱廃棄物のリサイクル率 向上	①	収集先の分別の徹底及び提案	EMS責任者	○
		②	分別回収箱への表示	小園	○
		③	リサイクルできる取引先の開拓	EMS責任者	○
		④	収集運搬受託先及び持ち込み業者への情報提供(リサイクル情報)	柳川清	○
		⑤	トラックスケールによる明確な重量把握	柳川秀子	○
		⑥	解体現場での分別の徹底	柳川清	○
		⑦	書類の焼却を排出者へ破砕後RPF製造等のリサイクルへ回せるようお願いする。	EMS責任者	○
取組目標 6		活動項目		責任者	評価
1	オフィス用品のグリーン調達 50%以上	①	グリーン購入の実施	坂井ひとみ	◎
		②	自社購入品目の確認	右寺	◎
取組目標7		活動項目		責任者	評価
1	化学物質を取り扱った場合の使用量を把握する。	①	化学物質を取り扱ったか、チェックする。	坂井ひとみ	○
		②	取り扱った場合使用量を把握する。	坂井ひとみ	△
○・・・実行できた。 ◎・・・実行でき、効果的だった。 △・・・実行できなかった。					

5.環境活動計画の取組結果とその評価

1.二酸化炭素

◇ 事務所における電気使用量は監視カメラ2台・ウォーターサーバー1台増設したため、増加したが焼却施設における電気使用量及び化石燃料の使用量は減少している。東日本大震災の発生以降、原子力発電所の運転停止が継続し代替える火力発電の発電量が大幅に増加していることから九州電力の排出係数は1.7倍以上となったため、弊社の二酸化炭素排出量も増加という結果がでた。しかしながら、廃棄物取扱量(特にがれき類の持ち込み)の増加が著しく、焼却量・収集運搬量は若干減少したので、-30% という結果を出すことができた。

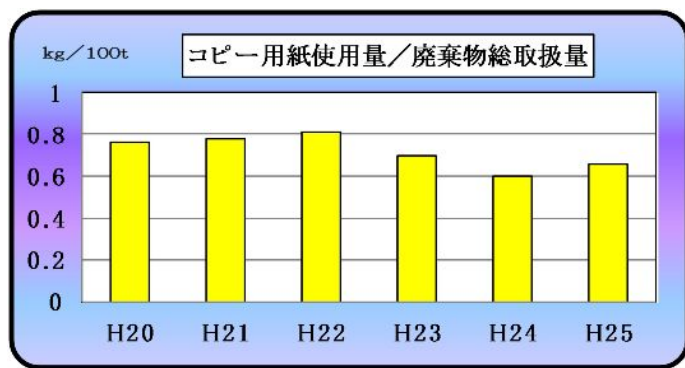


ダンプ等の場合エコ運転ができていても、重量物運搬頻度の増加及び短距離走行の増加があるため、大きな改善は見られない。ハイブリットカーが低燃費を引っ張ってくれている。

2. 一般廃棄物

◇ リユース・リデュース・リサイクルが十分取組めている。

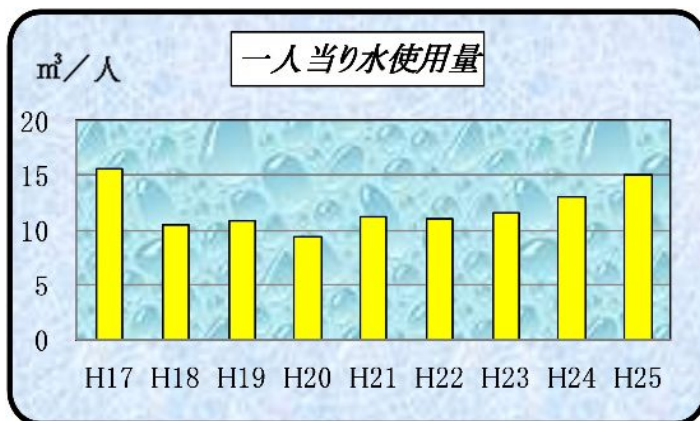
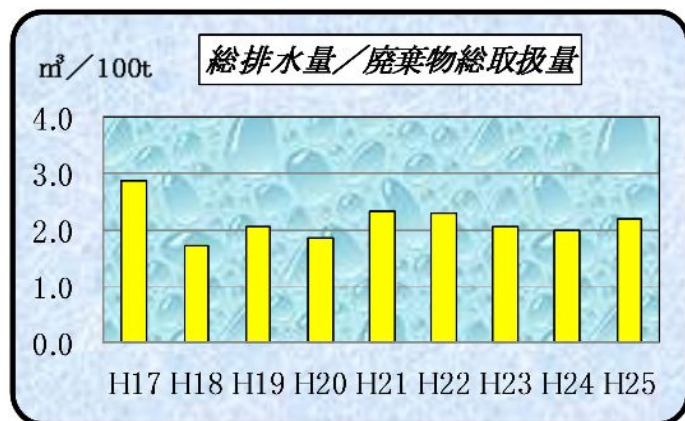
3. コピー用紙



◇ 裏紙利用・メールの活用・両面印刷など十分な活動ができている。

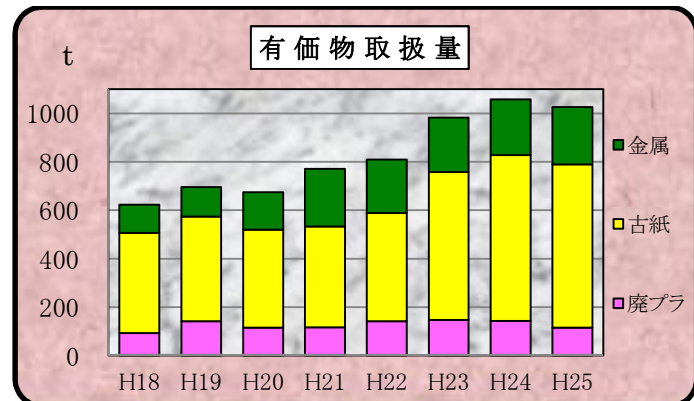
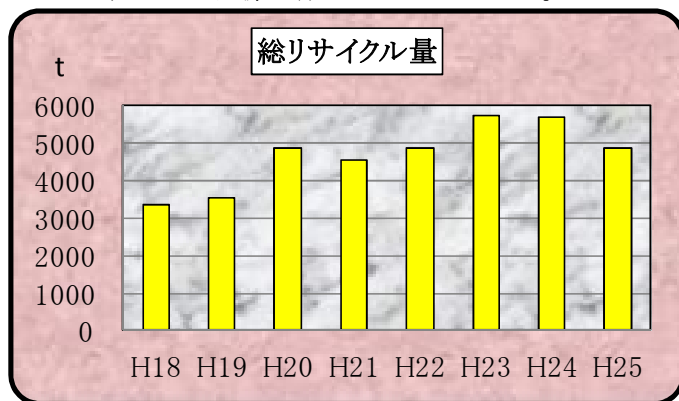
4. 水使用量

仕事量の増加に伴い汚れものの増加が著しかったため、洗濯量が増え水使用量(排水量)の増加につながっている。しかし、活動計画は実施できており、目標は達成できた。



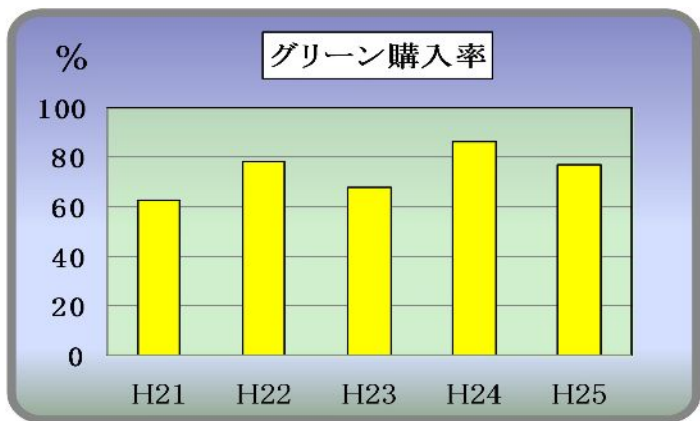
5. リサイクル

他社でのリサイクル品(動植物性残差)の収集がなくなったこと、一時的な埋立処分品(がれき)の激増があり、産業廃棄物のリサイクル率が激減してしまった。予防措置としてリサイクル率の向上率を下げたが汚泥(他社リサイクル品)も激減したことが相まって目標達成には至らなかった。



6. グリーン購入

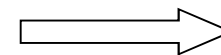
◇ 計量伝票など再生品がない事務用品の購入が多かったためグリーン購入率は77.1%だった。平成26年度よりグリーン購入リストに挙げた事務用品の購入率100%を目標とし、今期100%だった。



(有) 坂井商店 リサイクルセンター

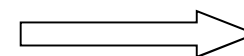
● ペットボトル

ペットボトル破碎機



● 廃プラ類（ビニール、ラップ類）

圧縮機



● 廃プラ類（硬質系）

破碎機



再
生
品
化

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

- ・大気汚染防止法
- ・佐賀県環境の保全と創造に関する条例施行規則
- ・水質汚濁防止
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)
- ・特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)
- ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)
- ・佐賀中部広域連合火災予防条例
- ・ダイオキシン類対策特別措置法
- ・使用済み自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)
- ・森林法
- ・砕石技術指導基準書
- ・計量法
- ・労働安全衛生規則
- ・道路交通法
- ・道路運送車両法
- ・資源の有効な利用の促進に関する法律の基本方針の改定及び判断基準省令の一部改定
- ・石綿障害予防規則
- ・佐賀市廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例など

上記の環境関連法規等一覧表を作成・管理し環境法規及びその他の要求事項について遵守手順を運用しています。法律ごとに管理担当者を配置しており、違反・訴訟等はありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

定期的の実績活動内容を確認評価することで目標値を修正するなどの予防措置がとれ、環境経営システムは有効に機能しています。

二酸化炭素排出量は九電排出係数の上昇を加味しても目標達成できています。

リサイクル率の向上に関しては他社リサイクル品の排出の激減・取引解除など重なり、0.2%向上という結果となっていました。リサイクル品といえどもとは廃棄物、廃棄物の排出を少なくする取り組み成果の出た排出者がいるということは大きな意味でのプラスの影響ととらえ弊社のリサイクル率向上を抑えることにします。

これからも、もったいないを合言葉に主に無駄抜きの活動を継続したいと思います。

8. 次年度の活動計画

- ①二酸化炭素:引き続き活動を継続し、動向を把握する。
- ②一般廃棄物:引き続きリユース・リデュース・リサイクルに取り組む。
- ③コピー用紙:引き続き裏紙利用・メールの活用・両面印刷などに取り組む。
- ④水使用量:引き続き節水活動を継続する。
- ⑤リサイクル:引き続き活動を継続し、動向を把握する。
- ⑥グリーン購入:来期も目標達成するよう努力する。

9. 環境保全に関するその他の取組み（環境コミュニケーション）

◆事業所周辺道路の清掃風景（週1回）

◆最終処分場周辺道路草刈り伐採・道路整備（年1回）



◆佐賀大学「環境キャリア教育プログラム」

インターシップ（平成25年8月19日～8月20日）を受け入れました。

現場・事務方等の体験を通して、社会に役立つ実践力が高くなったという感想をいただきました。

高い環境スキル・環境マインドに加え高い就業力を持った人財育成に協力しています。

◆（一社）佐賀県産業廃棄物協会 青年部

嬉野市塩田町山間部において、不法投棄撤去ボランティア活動(平成25年10月24日)に参加しました。
青年部の会員とともに、不法投棄撲滅を訴えていきます。



ふるさと美化活動（平成26年6月1日）に参加しました。



◆CSR2 プロジェクト九州ブロッカー斉清掃事業佐賀県産業廃棄物協会 青年部(平成26年6月7日)
有明佐賀空港公園グランド周辺のゴミ拾い及び草刈ボランティアに参加しました。



10.環境保全検査の測定結果

1) 中間処理施設(燃却施設1号炉)									
ばい煙	基準値 (以下)	H23.6.29 H23.7.11	H23.11.16 H23.11.24	H24.6.14 H24.6.22	H24.12.6 H24.12.17	H25.6.27 H25.7.5	H25.10.31 H25.11.8	H26.6.19 H26.6.30	(採取年月日) (分析年月日)
ばいじん(g/㎡N)※	0.25	0.065	0.076	0.043	0.055	0.06	0.056	0.038	
硫黄酸化物(㎡N/h)	5.96	0.30	0.28	0.21	0.26	0.21	0.27	0.18	
窒素酸化物(cm3/㎡N)※	250	47	42	44	47	55	44	45	
塩化水素(mg/㎡N)※	700	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
※は12%酸素換算値である。									
ダイオキシン	基準値 (以下)	H23.11.16 H23.12.15	H24.12.6 H24.12.22	H25.10.31 H25.11.15	(採取年月日) (分析年月日)				
排ガス(ng-TEQ/㎡3N)	10	4.1	5.1	2.2					
		H23.11.16 H23.12.15	H24.12.7 H25.1.10	H25.11.20 H25.12.4	(採取年月日) (分析年月日)				
ばいじん(ng-TEQ/g)	3	0.34	0.031	0.077					
		H23.11.16 H23.12.15	H24.12.7 H25.1.10	H25.11.1 H25.11.15	(採取年月日) (分析年月日)				
燃え殻(ng-TEQ/g)	3	0.41	0.11	0.095					
中間処理施設(焼却施設2号炉)									
ダイオキシン	基準値 (以下)	H23.9.29 H23.10.14	H24.9.27 H24.10.18	H25.11.14 H25.11.25	(採取年月日) (分析年月日)				
排ガス(ng-TEQ/㎡3N)	10	3.4	4.9	1.2					
		H23.10.3 H23.10.25	H24.10.4 H24.10.23	H25.11.20 H25.12.4	(採取年月日) (分析年月日)				
ばいじん(ng-TEQ/g)	3	0.089	0.070	0.084					
		H23.10.3 H23.10.25	H24.10.4 H24.10.23	H25.11.20 H25.12.4	(採取年月日) (分析年月日)				
燃え殻(ng-TEQ/g)	3	0.076	0.077	0.042					
※ダイオキシン採取箇所 排ガス:煙突中間側部測定口 ばいじん:サイクロン				※ダイオキシンの測定は年1回 ※ばい煙の測定は年2回 ※NDは定量下限値未満を示す					

2) 安定型最終処分場		BOD基準値 20.0mg/ℓ 以下											
平成23年度	採取年月日	H23.7.14	H23.8.11	H23.9.15	H23.10.14	H23.11.16	H23.12.13	H24.1.13	H24.2.14	H24.3.13	H24.4.10	H24.5.17	H24.6.25
	分析年月日	H23.7.20	H23.8.18	H23.9.22	H23.10.20	H23.11.22	H23.12.19	H24.1.18	H24.2.21	H24.3.19	H24.4.16	H24.5.24	H24.7.12
BOD (mg/ℓ)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.9	0.5
平成24年度	採取年月日	H24.7.10	H24.8.10	H24.9.12	H24.10.11	H24.11.16	H24.12.12	H25.1.10	H25.2.12	H25.3.12	H25.4.10	H25.5.30	H25.6.11
	分析年月日	H24.7.17	H24.8.17	H24.9.18	H24.10.17	H24.11.22	H24.12.18	H25.1.17	H25.2.19	H25.3.19	H25.4.17	H25.6.25	H25.6.18
BOD (mg/ℓ)		ND	ND	ND	ND	0.5	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	ND
平成25年度	採取年月日	H25.7.10	H25.8.8	H25.9.11	H25.10.10	H25.11.14	H25.12.10	H26.1.9	H26.2.13	H26.3.11	H26.4.17	H26.5.22	H26.6.25
	分析年月日	H25.7.17	H25.8.16	H25.9.18	H25.10.16	H25.11.22	H25.12.16	H26.1.16	H26.2.19	H26.3.18	H26.4.24	H26.5.28	H26.7.22
BOD (mg/ℓ)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.1	1.9	0.6
分析項目	基準値 (mg/ℓ以下)	採取年月日：H24.6.25 分析年月日：H24.7.12		採取年月日：H25.5.30 分析年月日：H25.6.25		採取年月日：H26.6.22 分析年月日：H26.7.22							
		地下水	浸透水	地下水	浸透水	地下水	浸透水						
カドミウム	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
シアン	検出されないこと	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
鉛	0.01	ND	ND	ND	0.002	ND	ND						
六価クロム	0.05	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
ヒ素	0.01	0.001	ND	ND	0.002	ND	0.001						
水銀	0.0005	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
アルキル水銀	検出されないこと	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
PCB	検出されないこと	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
四塩化炭素	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
1.1.2-トリクロロエタン	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
1.2-ジクロロエタン	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
1.1-ジクロロエチレン	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
1.2-ジクロロエチレン	0.04	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
ジクロロメタン	0.02	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
ベンゼン	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
トリクロロエチレン	0.03	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
テトラクロロエチレン	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
1.1.1-トリクロロエタン	1	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
1.3-ジクロロプロペン	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
チウラム	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	※上流では地下水・浸透水とも検出されないため、					
シマジン	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	すべて下流の水で検査している。					
チオベンカルブ	0.02	ND	ND	ND	ND	ND	ND	※NDは定量下限値未満を示す。					
セレン	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND						